

# 都市再生整備計画（第9回変更）

あ く わ み や ざ わ ち く  
阿久和・宮沢地区

か な が わ け ん よ こ は ま し  
神奈川県 横浜市

平成22年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	阿久和・宮沢地区	面積	858 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

阿久和川、和泉川周辺の水と緑の環境資源を保全・活用・再生し、これらをネットワークすることによって、誰もが身近な水と緑の環境に親しめるようにすることで、水と緑のを身近に感じられる安らぎのある生活環境を整備・保全します。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

阿久和・宮沢地区は、川沿いの谷戸斜面を中心に緑地が連なって残っている地域であり、都市計画マスタープラン瀬谷区プランにおいて、区の「水と緑の南の拠点」に位置づけられ、都市計画マスタープラン泉区プランにおいても「ゆとりと豊かさのあるまち」を目指すこととされています。  
 また、阿久和川、和泉川の二本の川は、さらに「水と緑の基本軸」とされて、治水と親水との両立を目指した改修が進行中であり、水辺広場や遊水地が整備されてきており、さらに、流域での水循環の再生なども進めていく必要があります。これらの川に連なる緑地は、一部は公園として保全、整備が進められてきたほか、地権者の理解を得て保全、活用などの取り組みも行われているが、近年、開発により緑地が失われたところもあり、貴重な地域資源として保全することが求められている。  
 一方、緑地や河川だけでなく、大岡家長屋門など歴史的建造物が、住民グループによって活発に管理運営がなされ、地域コミュニティ活動や、自然と共存するまちづくり活動の核にもなっており、緑地、河川や歴史的建造物などの地域資源を活かしたまちの魅力づくりも求められており、地区内だけでなく、地区外からの来訪者もこういった地域資源に親しめるよう、これらを結ぶ散策ルートの整備などの環境整備が求められており、拠点の保全・活用とともに地域全体でのネットワーク化など取り組みを進めることにより、地域の環境アメニティの向上につながることを期待されている。

課題

- ・開発が進むなか、緑豊かな生活環境を確保するため、緑地の保全、活用が求められている。
- ・地区の骨格となっている河川に親しむための親水拠点の拡充が求められている。
- ・まちと共存する自然を保全するため、地域と協力しながら、流域での水循環の再生への取り組みが求められている。
- ・地域の魅力となっている緑、河川、歴史的建造物などの地域資源について地域と協力した保全・活用が求められている。
- ・地区内外の市民が地域資源に親しめるよう、緑地や親水拠点を結ぶ歩行者ネットワークの整備が求められている。
- ・少子高齢化の進展が想定される中で、文化活動やまちづくり活動、コミュニティ活動などの様々な区民活動において、区民の交流による活気や活力の創出を図る取組、支援が求められています。

将来ビジョン(中長期)

- 瀬谷区及び泉区都市計画マスタープラン「まちづくりの方針」に次のように位置づけられています。
- 水と緑の基本軸づくり  
川と周辺に連なる緑地をネットワークすることによって、だれもが身近な水と緑の環境に親しめるようにするとともに、地域の歴史的な環境や固有のたたずまいを整備・保全していきます。  
・和泉川では、自然環境に配慮しつつ区民が散策できるよう、5つの水辺や周辺の公園・緑地を結ぶネットワークを形成します。  
・阿久和川では、源流域である三ツ境、長屋門公園から阿久和川遊水地までを結ぶ散策ルートの整備を進めます。阿久和川遊水地は、近接する阿久和大久保原公園など、周辺の自然環境に配慮しつつ、区民が楽しめるよう、整備を進めます。
- 「水と緑の2大拠点(北の拠点、南の拠点)づくり」  
・宮沢・蟹沢緑地保全地区や東山緑地保全地区に加え、宮沢ふれあいの樹林などのまとまった緑地についても、土地所有者や地域の協力を得ながら、特別緑地保全地区に指定するなど、保全を進めます。  
・和泉川の5つの水辺では、治水対策を進めるとともに、誰もが安全に水辺に近づけるよう親水性のある施設を整備します。  
・長屋門公園や瀬谷狹達公園など南の拠点の核となる公園については、歴史的建造物や湧水などそれぞれの特長を生かした公園づくりを進めます。
- 地域で取り組むネットワークづくり  
・水源となる湧水を保全するとともに、流域の住宅地を中心とした雨水浸透を進め、健全な水循環の再生をはかります。  
・河川の増水を防ぎ、水循環を再生させるため、建物等での雨水貯留、歩道や駐車場の透水性舗装や敷地内での浸透施設の設置を進めます。
- 快適に住み続けられる居住環境づくり  
・区民が快適に、安心して住み続けられる居住環境の形成に向け、うるおいのある良好な住宅地を形成するとともに、生活利便性の向上をめざし、活気のある駅周辺のまちづくりや活力の創出を進めます。
- 快適に利用できる交通ネットワークづくり  
・子ども、高齢者、障害児・者、外国人など区民誰もが、安心して、安全に、自立的に移動できるように、人や環境にやさしい、快適に利用できる交通ネットワークづくりを進めます。バスや鉄道などの公共交通利用を促進するとともに、徒歩や自転車、マイカーなど多様な交通手段を選択できる交通ネットワークづくりを進めます。
- 安心、安全、健康によるくらしやすいまちづくり  
・子ども、高齢者、障害児・者、外国人など区民誰もが、安心して安全に、また健康的にくらせるように、自然的環境を保全しつつ、くらしやすさを高めたまちづくりを進めます。  
・市民交流などの活動ができる文化・教育施設などの整備を検討し、区民活動の場づくりを進めます。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
水と緑の保全活動等に係わる市民の人数	人	水と緑の拠点で保全・活用に係わる活動に参加した市民の延べ人数	市民参加により水と緑の保全・活用に係る活動が行われている。	3,800	4,400
長屋門公園の利用者数	人/年	歴史的建造物を活用した長屋門公園でのイベント参加者数	水と緑の拠点やネットワーク整備により、市民利用が行われていることで、イベントを通じて地域資源の活用が行われている。	13,619	14,981
ボランティア団体数	団体	各種ボランティア活動に携わる団体数	やさしさ交流拠点等の整備により、ボランティア活動が活発になる。	119	155

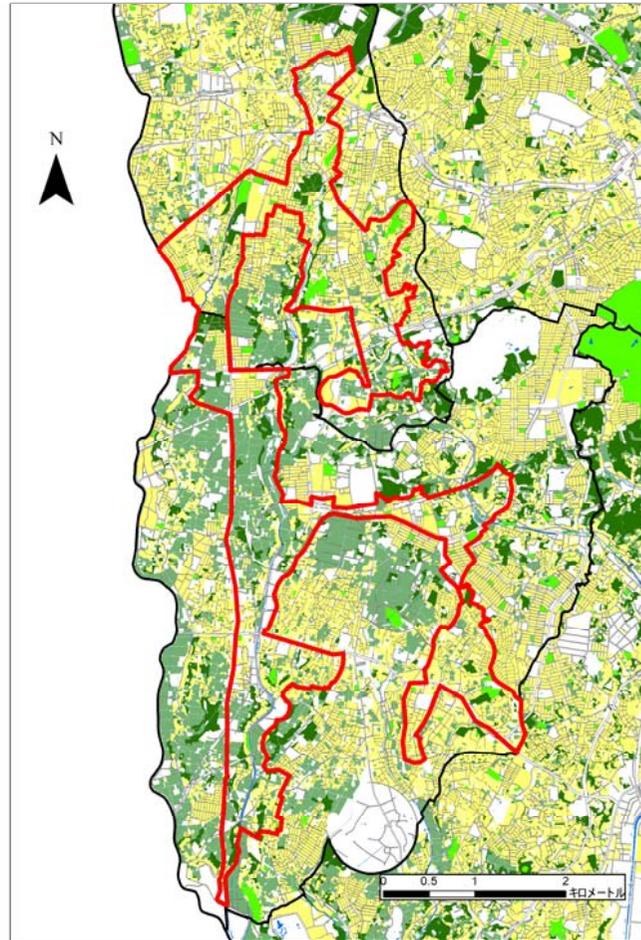
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・緑の拠点を確保・整備する。</p>	<p>(基幹事業) 長屋門公園整備 阿久和大久保原公園整備 和泉川流域地区 東山緑地整備事業 宮沢緑地整備事業 泉の森緑地整備事業 中田宮ノ台緑地整備事業 鍋屋の森水辺広場整備工事</p> <p>(提案事業) 新橋地区ケアプラザ・コミュニティハウス整備事業 やさしさ交流拠点整備(地域ケアプラザ・福祉保健活動拠点・精神障害者生活支援センター・区民活動セン)</p>
<p>・水の拠点を整備する。</p>	<p>(基幹事業) 鍋屋の森水辺広場整備工事 (提案事業) 親水拠点整備事業(阿久和川遊水地)</p>
<p>・水と緑の拠点を結ぶネットワークを形成する。</p>	<p>(提案事業) 散策ルート計画検討 相沢川プロムナード 和泉川プロムナード</p>
<p>・水循環の再生への取り組みを進める。</p>	<p>(基幹事業) 長屋門公園整備 阿久和大久保原公園整備 阿久和向原第二公園 東山緑地整備事業 宮沢緑地整備事業 泉の森緑地整備事業 中田北緑地整備事業 境川圏域阿久和川流域貯留浸透事業 境川圏域宇田川流域貯留浸透事業 境川圏域和泉川流域貯留浸透事業</p> <p>(提案事業) 雨水貯留施設整備事業 雨の貯金箱設置事業</p>
<p>その他</p>	



都市再生整備計画の区域

阿久和・宮沢地区(神奈川県横浜市)	面積	858 ha	区域	瀬谷区阿久和東1～4丁目、阿久和西1～4丁目、阿久和南1～4丁目 宮沢1～4丁目、南瀬谷1丁目
-------------------	----	--------	----	--



凡例	
住宅系	黄色
農用地	緑色
山林等	濃緑色
野外利用地 (公園・広場・墓地)	薄緑色
水系 (河川・水路・水面)	水色

## 阿久和・宮沢地区(神奈川県横浜市) 整備方針概要図

目標	阿久和川、和泉川周辺の水と緑の環境資源を保全・活用・再生し、これらをネットワークすることによって、誰もが身近な水と緑の環境に親しめるようにすることで、水と緑のを身近に感じられる安らぎのある生活環境を整備・保全します。	代表的な指標	水と緑の保全活動等に係わる市民の人数 (人)	3800	(16年度)	→	4400	(22年度)
			長屋門公園の利用者数 (人)	13,619	(16年度)	→	14,981	(22年度)
			ボランティア団体数 (団体)	119	(16年度)	→	155	(22年度)

